



# 稻 西 っ 子

## 学校の教育目標

「豊かな心で ねばり強く やりぬく子」

## ○よく考える子【知】

## ○認め合い高まる子【情・意】

## ○進んで体を鍛える子【体】

■平成31年3月8日発行■■

## ○心温まる「6年生を送る会」

ほんわかと心が温まる、そしてほのぼのとした雰囲気の中で、6年生を送る会が行われました。「今までお世話になった6年生に感謝の気持ちを伝えよう」「6年間お世話になった全てのことに対する感謝の気持ちを込めて楽しく会に参加しよう」の活動のめあてをもち、取り組んだ送る会でした。

1年生は「あいさつのこと」、2年生は「通学班のこと」、3年生は「なかよし遊びのこと」、4年生は「クラブ活動のこと」、5年生は「委員会のこと」と、それぞれの学年からりました。教職員も「広い世界へ」の歌声を贈りました。一時間は流れていきます。6年生の下学年に向けられる優しさ感の現れだったのでしよう。



稻西小の3つの伝統「あいさつ」「そうじ」「思いやり」について、5年生がバトンを受け取りました。朝一番のあいさつは、よく声が出せるようになってきています。旗当番の方などへの感謝の言葉も自然に発する子が増えてきています。さしすせそうじを、黙ってもくもくと取り組む姿が、6年生はいまでもなく低学年にも浸透し、掃除時間は話し声なく集中しています。また、仲間を思いやる温かな声かけができる子が多く、ほんわか言葉が全校に広がってきていると感じます。

今回の送る会を企画・演出してくれた5年生。心が通い合う素敵な会づくりに努めてもらえたことに感謝です。この日を迎えるまでに、なかよし活動のリーダーを引継ぎ、グループをまとめ、6年生へのプレゼント作りをしてくれました。「一年後は、5年生がこのひな壇に立つ番。伝統のバトンをしっかりと受けつぎ、下学年の手本となる姿を示しながら、この場に胸を張って立ってほしい」と、願っています。

# ○ボランティア手帳50回達成認証式…

1日、稻西っ子広場にて、ボランティア50回達成認証式を行いました。今回の表彰で、2月末までの達成者310名を表彰しました。お互いに健闘をたたえ合うよう拍手に包まれたのちには、達成者の代表として、6年生4名と座談会形式で、ボランティアについて語り合いました。話を通して、公園の花壇での草引き、公園やスーパーなどに落ちているペットボトル拾い、神社で倒壊しそうな木を切っている地域の方のお手伝等、ボランティア経験を話してくれました。4人に共通していることは、ボランティアを通して、自分自身の気持ちを深く見つめていること。周りへの関心をもち、誰かの役に立とうと行動に移していることです。

ボランティアは、誰にでもできるあたりまえのこと。でも、気づいても、するといいなと思ってもできないことがあるのでは…。面倒だ、恥ずかしいといった気持ちになるからかもしれません。でも、みんなが喜んでくれたなら、自分もうれしくなったといった経験、誰かを笑顔にできた経験は、きっと自分自身の笑顔につながることに気づいていくことでしょう。

「やってあげる」から「やらせてもらう」へ。やらせてもらえてありがとうの感謝が湧いてくる。そんなボランティア活動。全校のみんなにこれからもがんばってほしいとエールを送りました。

50回達成することが目的になってはいけません。50回達成を目標にしながら、「人に対する温かさ、思いやりの心」を育んでいけたなら…。そして、他人の喜びを自分の喜びにつなげていける子供達になってくれたなら…。



これからもボランティア手帳の取組を通して、子供達の心を育んでいきます。ご協力をお願いいたします。